

沖縄県内のJ-クレジット創出

事例4

大学における太陽光発電設備の導入、
変圧器の更新

国立大学法人琉球大学

事業者プロフィール



◇事業者名 国立大学法人琉球大学
◇担当者 今村 利光
◇連絡先 098-895-8075

◇所在地 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
◇URL <http://www.u-ryukyu.ac.jp/>
◇E-mail sukkskch@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

1. 施設の概要

琉球大学は1950年に創設され1972年日本復帰と同時に国立大学となりました。現在は沖縄県中部に位置し、広大な海域を含む島嶼地域における拠点大学として自然環境を守り、地域社会の持続的発展に寄与すること、また、沖縄の歴史的教訓としての「命どう宝（命こそ宝）」という生命および個人の尊厳の考え方を根本に世界の平和と福祉の向上を目指す人間性豊かな責任ある人材養成を使命としています。

琉球大学の教職員・学生は、「自由平等、寛容平和」の精神を継承・発展させ、「地域特性と国際性を併せ持つ個性豊かな大学」を創り上げます。



3. 事業実施の経緯

サステナブルキャンパス構築にむけて

本学は、地域貢献、社会貢献のため、CO₂排出削減とサステナブルキャンパス構築のため、照明設備の改修、太陽光発電設備の導入、変圧器更新等施設改修並びに海岸清掃、オオゴマダラ育成の植栽やエコロジカルキャンパス学生委員会活動等環境に配慮した活動を行ってきました。

また、地域全体の温室効果ガス排出量削減活動の活性化につながることを目的に、J-クレジット制度に参加しました。

■本校が創出したクレジットの活用例(カーボン・オフセット)

- ・第39回 沖縄の産業まつり
- ・第67回 沖縄県植樹祭
- ・全国語学教育学会分野別研究部会2016年大会
- ・スターダストファンタジア2013



2. 排出削減事業の概要

太陽光発電設備の導入、変圧器の更新

太陽光発電設備を導入し、従来購入していた電力の一部を代替しました。また、変圧器を高効率で省電力の油入変圧器に更新しました。



農学部校舎の変圧器

4. 取り組みの感想・効果

無理なく環境に配慮しながら 地域貢献・社会貢献

J-クレジット制度への参加を担当された今村課長は、取組の感想を次のように話しています。

省エネ活動により光熱水費が削減されたことで、エネルギーにかかる負担が小さくなり、教育・研究により多くの経費が費やせるようになりました。また、室内の照度および、快適な空調空間の確保率も向上すると同時に、メンテナンス性も向上され、管理に係る手間も削減されました。

なお、省エネ活動の取り組みを通じ、学生および教職員の省エネ意識の向上も図ることができました。

今後も無理なく環境に配慮しながら教育・研究活動をおし地域貢献、社会貢献を実践していきたいと考えています。



導入前



太陽光発電設備を導入 ↓ 変圧器を更新

導入後



附属図書館の屋上に設置した太陽光発電設備

CO₂排出削減量

250

t-CO₂
(2013~2015年度)